

「被災地を巡るバスツアー～気仙沼・高田～」を開催しました

東日本大震災から12年が経過しました。

私たちの生活も日常を取り戻したように見受けられますが、パンデミックからエンデミック、国際紛争や暴動といった難題が次から次へと起こっています。決して風化させてはいけない記憶が、そんな中であって少しずつ薄らいでいるのでは...

7月最初の土曜日、震災時の強烈な印象を思い起こし、今後に備えるべく市内にお住いの方々32名、バスで気仙沼、陸前高田に出向き、あの日あの時の様子を学習して来ました。

震災を経験していない外国出身の方を中心に、また、災害時には相互に助け合おうという思いの地元

の有志も参加され、災害時にどういった行動を取れば命を守ることに繋がるのか、語り部ガイドの講話を皆さん真剣な眼差しで聴き入っていました。また、陸前高田の伝承館では、津波襲来の生々しい記録を目の当たりにし、一瞬にして失われた景観、インフラ、そして何よりも多くの尊い生命が奪われたことに言葉を失った様子でした。

行き帰りの車中では、日本語、中国語、タガログ語、英語等々が飛び交い、震災の事や復興の状況をそれぞれの視点で語り合い、習慣や文化の違いを超えて防災力の向上に繋がる一日になりました。



ベトナムの学生たちと交流しませんか？

ベトナム・ホーチミン市の大学生が、10月20日（金）から27日（金）まで、一関市を訪れます。学生たちは、市内にホームステイし、日本の生活や文化を体験する他、企業や学校、観光地を訪問し交流を図ります。また、学生たちによるベトナム文化紹介も予定しています。詳しいことは、改めてお知らせします。

先般、ホストファミリー募集のお知らせを郵送しました。来訪予定の学生たちは、日本の家庭で交流できることを楽しみにしています。国際交流に興味のある方、ベトナムの文化に触れてみたい家庭からのご応募をお待ちしています。



「にほんご交流カフェ」の見学とワークショップ

8月から「なのはなプラザ」に新しい交流の場が誕生します。

一関市や周辺にお住いの外国出身の方たちと楽しい時間を過ごし、活きた日本語を身に付けて貰いながらお互いの文化や習慣を理解し合えたら...

そんな思いから協会では皆さんにお力添えを戴き、日本語で交流する場を立ち上げようと、市内外から20名近くの方にお集まり頂きました。

7月9日(日)、はじめの一步として、大船渡市で開催されている「にほんご交流カフェ」を見学させて頂きました。今年4月に始まった、新しい感覚の交流の場です。「教室」というと何か堅苦しいイメージがありますが、ここは「交流カフェ」。ゆったりとした雰囲気の中で会話が弾んでいます。

見学の後は、県の国際交流協会の講師によるワークショップ。「どんな場にしたいですか」と問われ、参



加された皆さんは積極的にアイデアを出し、どうしたらお互いに快適な交流の場ができるか、熱く語り合っていました。8月の開催に向け、これからも研修は続きます。

協会では引き続き、日本語ボランティアを募集しています。語学力・資格・経験は問いません。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



「いちのせき市民フェスタ23」に参加出展します

8月27日(日)に開催される「いちのせき市民フェスタ」に、今年もブースを出展します。

市民フェスタは、市内で活動する団体の交流、情報交換の場で2007年から続いているイベントです。

今回の出展は、「英語でペーパークラフト」。何を作るかは、当日までのお楽しみ！子供から大人まで、簡単な英語で楽しくおしゃべりしながら交流しましょう。また、一関市社会福祉協議会と連携し、食料支援と相談窓口を開設する予定です。当日、食料支援の配布は行いませんが、食料品の寄付は受け付けます。「いちのせき市民フェスタ」については、いちのせき市民活動センターホームページ (<https://www.center-i.org/>)、食糧支援事業については、一関市社会福祉協議会ホームページ (<https://www.ichinoseki-shakyo.com/>) をご覧ください。



地域国際化人材育成研修会に参加しました

5月25日（木）、岩手県国際交流協会主催の地域国際化推進会議、ならびに人材育成研修会（県南地区）が、奥州市を会場に行われました。協会からは、佐藤会長、事務局職員の3名で参加し各団体との情報共有を図りました。この日の研修会は、外国人相談で多く寄せられる相談内容に対応した基礎知識を学びました。その後、グループに分かれ事例を基にした解決方法を話し合いました。

実際には、正解は唯一のもの、ということは少なく、多岐に及ぶ解決方法の提案をすることに意味があるという事も学びました。

他地域の協会の方々の考えや意見を聞くことができ、大変貴重な研修会でした。今後も関係各所と連携を図りながら、相談者の気持ちに寄り添い、問題解決の糸口となれるように相談窓口対応を継続していきます。

新しいスタイルの日本語教室がスタートします！

日本語を学びたい外国人に、日本語でお話しをしながら、生活に必要な日本語や文化を学んでもらう「交流の場所」が誕生します。

「日本語を勉強したい！」「日本語でたくさん会話をしたい！」「生活に必要な情報を知りたい！」など、日本語で交流したい外国人がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けください。



日にち：8月19日（土）～毎週土曜日

時間：14：00～15：00

場所：なのはなプラザ 3F（一関市大町 4-29）

料金：¥0-（無料）

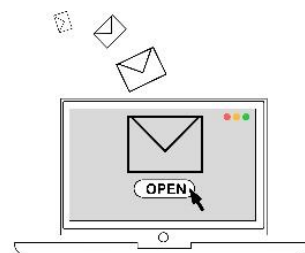
その他：メールで、「名前」「電話番号」をお知らせください。



イベント等のお知らせを メールでいち早く受け取れます！

会員の皆さまに定期的にニュースレターや各種イベント等のお知らせを、郵便でお届けしています。これらのお知らせを、より早くお届けするために、Eメールで受け取ることができます。メール配信をご希望の方は、協会事務局へメールでご連絡ください。

なお、スマートフォン等のメールアドレスで受信を希望され、ドメイン指定受信（迷惑メール対策・受信拒否等）を設定している方は、「i-intl@snow.ocn.ne.jp」からの受信設定をお願いします。



ボランティア募集中！

ボランティアの皆さまには、通訳・翻訳、文化紹介やイベントでのお手伝い、ホームステイの受け入れ、また日本語教室での学習者へのサポートなど様々な分野で協会の活動を支援して頂いております。多言語対応に関しても、英語・中国語・韓国語・ベトナム語・タガログ語・フランス語・スペイン語・セルビア語・アルバニア語の各言語で登録頂いております。ご協力、大変ありがとうございます。

幅広い活動のため、引き続きボランティア登録をお願いしています。国籍、会員登録の有無は問いません。みなさまの興味・関心・得意分野で、当協会の活動を一緒に盛り上げてくださる方々からの登録をお待ちしております。

登録ご希望の方へ、申込み用紙をお渡しいたします。また、協会ホームページからもダウンロードできます。詳しくは、協会までお問い合わせください。



会費納入のご案内

本年度の年会費をまだ納めていない会員の方は、お早めにお手続きくださいますようお願いいたします。会費が3月末までに納入されない場合、当協会の規約に則り、会員の資格が喪失し自動的に退会となります。会員の方々からの会費は、協会の様々な事業や運営に活用させて頂いております。

なお、7月31日までに入金が確認出来ない場合は、協会からのお知らせの郵送を停止させていただきます。予めご了承ください。

【振込先】

岩手銀行 一関支店 店番 024 口座番号 2133128 (普通)

イチノセキシコクサイコウリュウキョウカイ カイチャウ サトウ ユウゾウ

一関市国際交流協会 会長 佐藤 勇三



一関市国際交流協会

岩手県一関市大町 4-29 ののはなプラザ 4F

TEL：0191-34-4711 FAX：0191-34-4712

E-mail：i-intl@snow.ocn.ne.jp

URL：https://www.ichinoseki-ia.jp

●開所時間 9：00am～6：00pm

●定休日 毎週木曜日・祝日・12/29～1/3



一関市国際交流協会
Facebook



ホームページ